GTO Racing NEWS

2019 Vol.1

GT-Asiaチャレンジ元年！！
デビュー戦にて2位表彰台獲得っ！！

2019年4月6日～7日に行われた「GT World Challenge Asia」開幕戦。待ちに待ったデビュー戦の舞台は灼熱のマレーシア・セパンサーキット。午前中に行われた予選はBrian選手が3番手、Tony選手は5番手。レース1はBrian選手からスタートする。

スタート直前に雨が降り始め、レースは小雨の中スタート。スリッピーな路面にオープニングラップからスピン車両が続出。Brian選手もスピンしたGT3マシンと接触。セイフティーカー（SC）が入る展開となる。

幸運なことに、マシンは大きなトラブルもなくそのままレース続行、レース再開後はクラストップの「BMW TEAM Studie #81」と激しいトップ争いを繰り広げる。

2回目のSCのタイミングを見計らってピットイン。2ndドライバーのTony選手にバトンタッチ。チームはピットレーン時間ギリギリの+0.308秒、全チーム中最高のピットアウト作業でドライバーを後押しする。

しかし、#81木下・砂子組のベテランチームには一歩届かず、2位でフィニッシュ。デビュー戦で表彰台の快挙を達成した。

翌日行われたレース2は10秒のピットレーン時間ハンデを背負う。この重いハンデに加え、Tony選手が痛恨のスピン＆黄旗追い越しによるドライブスルーペナルティを負ってしまう。その後、懸命に追いかけるも結果は4位フィニッシュ。連続表彰台を逃してしまう結果となった。

惜しいレースだったが、デビュー戦として満足な結果となり、次回への課題も見えたチームは5月11・12日、タイ・ブリラムサーキットで2戦目を戦う。

▲2019年開幕戦。GT3クラスは25台、GT4クラスは5台のエントリーで合計30台でレースは行われた。

▲レース1でフロント、左前、右リアに傷を負うも大事には至らずレース続行。トップのBMWを懸命にチャージするBrian選手。

▲30台のGTカーによるレースは迫力満点。2名のドライバーによる1時間のレースはドライビングはもちろんチームの作戦も重要だ。

▲レース2、3位争いをするTony選手。お互い譲らない良いレース展開だが、ドライブスルーペナルティにより勝敗が決まってしまう。

＜チーム紹介＞

2019年GTO Racing TEAMは、GTO Racing with TTRとして、BLANCPAIN GT World Challenge Asiaに「Mercedes AMG GT4」にて参戦。

ドライバーはお馴染みのBrian Lee選手。そしてパートナーには香港のTony Fong選手を迎え入れてレースを戦う。

総監督はYu、助監督はKie、アドバイザーにGTドライバーの安岡秀人氏を迎えてレースをコントロール。

チーフメカニックはGTO中国スタッフのHo。メカニックは同じくGTO中国スタッフのWei、JianとマレーシアからRajを加えた4名。初経験となるGTレースで戸惑いもありながら初戦を迎えた。テストを合わせてもまだ3回目のマシンとの対面という厳しい条件だったが、ドライバーの走りに応えるべく、夜通しの作業を行った結果、初戦では見事2位表彰台を獲得。幸先の良いスタートとなった。

スポンサーはこれまでもGTO Racing TEAMをサポートして頂いてる「大幸薬品」様、「長谷川工業」様をメインに多くのサポーター企業様にご協力を頂いています。

今年一年、このチーム体制でデビューイヤーを戦います。皆様暖かいご声援をお願い致します。